

第3期霧島市ふるさと創生総合戦略 ～KIRISHIMAみらいプロジェクト～

総合戦略の策定の趣旨

本市は、「第二次霧島市総合計画」に掲げたまちづくりの将来像「人にやさしく 人をはぐくむ一人ひとりが輝きにぎわう 多機能都市」の実現に向けて取り組んでいます。

まちづくりの将来像を実現していくためには、このまちに暮らす人が、生まれ育った郷土に誇りを持ち、ずっと住み続けたいと思えるように、また、さらに多くの人がこのまちを訪れるように、本市の強みに目を向け、新しい視点を持ちながらまちづくりに取り組んでいく必要があります。

第3期霧島市ふるさと創生総合戦略(KIRISHIMAみらいプロジェクト)は、まちづくりの将来像を実現するための6つの政策の枠組みを超えて、「夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成(まちの創生)」「地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保(ひとの創生)」「魅力ある多様な就業の機会の創出(しごとの創生)」に重点的に取り組むものであり、分野横断的な取組により効果的な政策展開を図ることを目的としています。

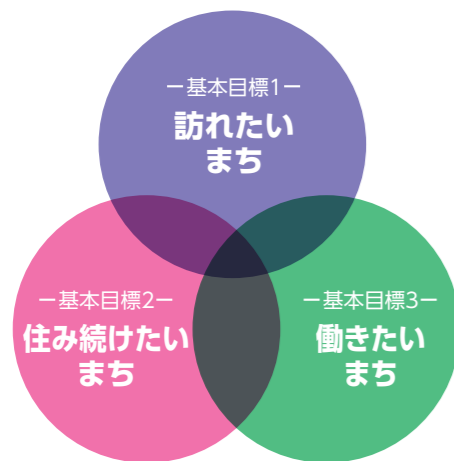
総合戦略の位置付け

総合戦略は、まち・ひと・しごと創生法*第10条の規定に基づき、本市における地方創生に関する目標や施策の基本的方向等について定めるものであり、策定に当たっては、国や県の総合戦略の内容を勘案するとともに、本市の最上位計画である総合計画と一体的なものとします。

具体的には、「1 訪れたいまち」「2 住み続けたいまち」「3 働きたいまち」の3つの基本目標の実現に向け、総合計画の政策分野を横断して、重点的に取り組むべき事項を再掲したものです。

計画期間

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度



基本目標のKPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
相談窓口を経た移住者数(5-1)	198人	220人
観光客数(宿泊+日帰り)(1-3)	4,491,954人	7,490,000人
合計特殊出生率*(3-2)	1.66	1.88
社会動態*	社会増の維持(転入者数>転出者数)	
立地協定締結件数(増設を含む、累計)(1-1)	80件	100件
創業支援センター*と創業セミナーにおける起業・創業者数(1-1)	11事業者	20事業者
農業産出額(推計)(1-2)	212億2000万円	212億2000万円

基本目標 1 訪れたいまち

1 I・J・U “移住天国霧島”魅力倍増計画

概要・目的

地方移住に関心のある人に向けて本市の多様な魅力を積極的に情報発信するとともに、移住相談体制の充実や官民連携によるサポート体制づくりに取り組みます。また、移住・定住に至らないものの、地域に多様な形で関わる「関係人口*」の創出・拡大に向けた取組を推進します。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
相談窓口を経た移住者数(5-1)※再掲	198人	220人
移住プロモーション*による相談件数(5-1)	743件	800件

プロジェクトの方向性

- 移住定住の促進(5-1-3)
- シティプロモーション*の推進(5-3-3)

2 “感動”を生み出す霧島流「五感再生ツーリズム*」

概要・目的

日本初の国立公園「霧島」や新たに国宝に指定された「霧島神宮」、天孫降臨神話など本市特有の歴史・文化、山・川・海・温泉・食などの多種多様な資源や素材を生かし、五感に響く、感動を生み出す霧島ならではの観光施策の展開により、国内外からの交流人口*増加を目指します。また、新型コロナウイルス感染症*の拡大をきっかけとした社会環境や旅行形態の変化などを的確に捉え、「選ばれる」「また訪れたい」観光地づくりを推進します。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
国内宿泊客数(1-3)	540,958人	770,000人
外国人宿泊客数(1-3)	1,179人	120,000人
文化財保存・継承活動の実践者と参加者の人数(4-2)	5,278人	8,000人

プロジェクトの方向性

- 国内外の観光客の誘致(1-3-1)
- 観光素材の創出と活用(1-3-2)
- 利便性の高い観光地づくりの推進(1-3-3)
- 文化財の保存・継承と活用(4-2-4)

※各KPIの後の()は後期基本計画の施策番号、プロジェクトの方向性の後の()は施策番号と基本事業番号を示しています。

基本目標 2 住み続けたいまち

1 結婚・出産・子育て支援の充実

概要・目的

結婚につながる出会いの場を提供するとともに、妊娠・出産・子育てに関する支援を充実させることにより、妊娠・出産の希望を実現し、安心して子育てできる環境づくりに取り組みます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
妊娠・出産について満足している市民の割合(3-2)	93.0%	95.0%
18歳以下の児童数(3月31日現在)(3-2)	22,768人	23,168人
かごしま出会いサポートセンター*を利用した市民のカップル成立数(3-2)	51組	56組

プロジェクトの方向性

- 妊娠期から乳幼児期までの切れ目のない支援の充実(3-2-1)
- 多様なニーズに応じた子育て環境の充実(3-2-2)
- 子育てに関する負担軽減の推進(3-2-3)
- 結婚を希望する人への支援(3-2-4)

2 子どもの夢と豊かな心を育む教育の推進

概要・目的

本市の将来を担う子どもたちが、生涯にわたって自ら学び、高い志を持ち、社会を生き抜く力を身に付ける教育を推進します。それを支えるために教育分野の基本方針(政策)である「社会を生き抜く力と生涯を通じて学びあう力を育むまちづくり」の実現に向け、学校・家庭・地域・関係機関が一体となって取り組みます。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(4-1)	54.2%	65.0%
学習定着度調査*における平均通過率*の県との比較(4-1)	-6.2ポイント	1.5ポイント
市内の体育施設の年間延べ利用者数(4-3)	646,523人	930,000人
芸術文化事業の実践者と鑑賞者の人数(4-3)	49,692人	110,000人
芸術文化団体に所属している人数(4-3)	2,346人	2,581人

プロジェクトの方向性

- 夢実現のための学力の向上と個性を育む教育の推進(4-1-1)
- 専門高校としての魅力を高める高等学校教育の充実(4-1-4)
- 生きる力を育む体験・交流活動の充実(4-2-1)
- スポーツに親しむ環境づくりの推進(4-3-1)
- 芸術文化に親しむ環境づくりの推進(4-3-2)

3 住民自治の推進による魅力ある地域社会の形成

概要・目的

地区自治公民館を中心とした住民自治を推進するとともに、救急・医療体制や交通安全・防犯対策の充実などを図り、安心して暮らすことができる魅力的な地域づくりを推進します。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
救急講習等を受講した市民の割合(2-4)	2.0%	9.0%
交通事故発生件数(人身・暦年)(2-4)	412件	412件以下
刑法犯罪認知件数(暦年)(2-4)	369件	350件
休日診療に参加する医療機関数(3-1)	132カ所	132カ所
自治会加入率(5-1)	56.5%	56.5%
まちづくりや地域活動等の支援制度を活用した市民団体数	349団体	650団体

プロジェクトの方向性

- 火災の予防と救急・救助体制の充実(2-4-2)
- 交通安全・防犯対策の推進(2-4-3)
- 質の高い医療体制の確保(3-1-2)
- 市民活動の支援と協働の推進(5-1-1)

4 既存ストック*活用等による地域の活性化

概要・目的

公共施設や空き家・空き店舗などの既存ストック等を有効活用するリノベーションまちづくり*等を推進し、地域の魅力の維持・向上、地域住民による助け合いや多様な活動の活性化を図ります。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
空き家の利活用件数(5-1)	16件	20件
官民連携による公共施設の活用等の実施件数(累計)(6-2)	0件	3件

プロジェクトの方向性

- 創業支援と企業誘致(1-1-2)
- 中山間地域*の活動支援(5-1-2)
- 公有財産の適切な管理と利活用(6-2-4)

基本目標 2 住み続けたいまち

5 公共交通の見直し等による生活利便性の向上と地域間連携の推進

概要・目的

利便性の高い総合的な公共交通ネットワークを構築するため、利用実態や地域ニーズを踏まえた運行の見直しを行うとともに、MaaS*やAI*などの新しい技術やアイデアを積極的に導入します。また、近隣自治体との連携による広域的な地域の魅力づくりや情報発信を行います。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
肥薩線(吉松～隼人)の平均通過人員*(1-4)	518人	605人
日豊本線(都城～国分)の平均通過人員(1-4)	830人	1,389人
ふれあいバス*の1便当たりの利用者数(1-4)	2.7人	4人
市街地循環バス・観光バスの1便当たりの利用者数(1-4)	3.7人	5人
広域連携により実施した事業件数(累計)(5-3)	22件	30件

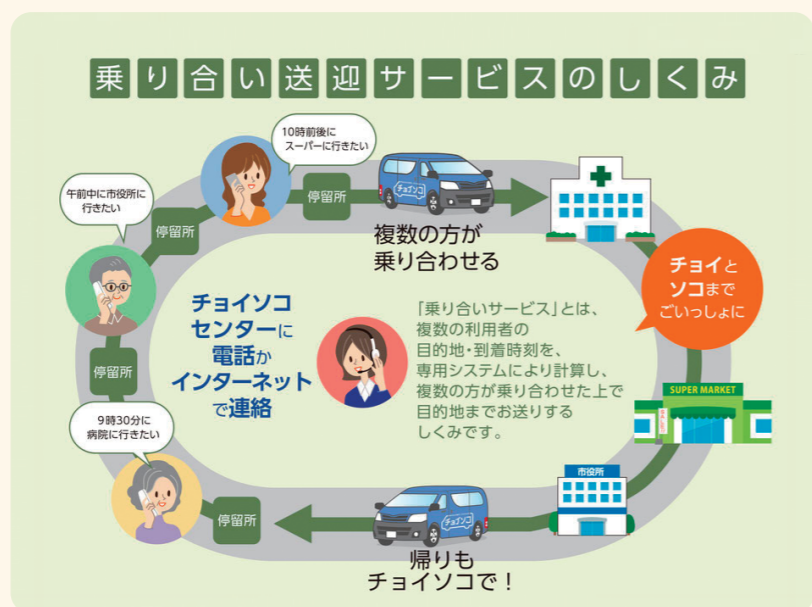
プロジェクトの方向性

- 総合的な公共交通の連携の強化(1-4-1)
- バス交通の利便性向上と効率的運行(1-4-2)
- 広域的な連携の推進(5-3-2)

Column 地域公共交通、AI活用で最適化

市では、持続可能な地域公共交通*サービスを構築するため、地域公共交通の「質」や「魅力」の向上と、高齢者はもちろん若年層への利用の浸透に取り組んでいます。

その一環として、大型車両から小型車両への転換や、デジタル技術を活用した、予約・配車システム「AI活用型オンデマンドバス」の導入により、医療機関や商業施設内への乗り入れを可能とするなど、利用者の移動ニーズに応じたきめ細やかな運行の実現を目指します。



6 環境と調和したまちづくりの推進

概要・目的

暮らしやすい街を形成するための基盤整備や効率的なインフラ*の維持管理を行うとともに、山・川・海に恵まれた豊かな環境を将来の世代に引き継ぐため、脱炭素化*の取組など環境と調和したまちづくりを推進します。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
海域の環境基準(COD)*達成地点数(2-1)	3地点	4地点
大気・河川の環境基準達成率(2-1)	75.1%	90.0%
市民一人1日当たりの家庭系ごみの排出量(2-2)	637g	619g
リサイクル率(2-2)	16.7%	19.7%
再生可能エネルギー*導入容量(2-2)	366,236kW	549,622kW
市の事務事業*に由来する温室効果ガス*排出量(2-2)	43,000t-CO2	29,899t-CO2
都市公園*内の更新・新設した公園施設数(累計)(2-3)	17件	35件
市道の改良率(2-3)	48.3%	48.9%

プロジェクトの方向性

- 自然環境の保全(2-1-1)
- ごみの減量化・資源化(2-2-1)
- ごみの適正な排出・処理(2-2-2)
- 地球温暖化*対策の推進(2-2-3)
- 良質な住環境の整備(2-3-1)
- 道路ネットワークの構築と道路施設*の維持(2-3-2)

7 デジタル・トランスフォーメーション(DX)*の推進

概要・目的

デジタル技術を活用し、行政サービスの向上と業務の効率化を図るとともに、地域の課題やニーズに対応するため、事業者や地域などのデジタル化を支援します。また、デジタル化に困難を感じる人がいることを常に意識し、「誰一人取り残されず全ての人がデジタル化のメリットを享受できる心豊かな暮らし」の実現を目指します。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
マイナンバーカード*の交付率(3月31日現在)(6-1)	40.4%	100%
オンライン*で申請できる手続数(6-1)	11手続	38手続

プロジェクトの方向性

- デジタル技術を活用した行政サービスの充実(6-1-1)

基本目標 3 働きたいまち

1 「強み」を生かした企業の誘致、中小零細企業の多様で活力のある成長・発展の実現

概要・目的

本市の強みを生かした企業誘致を積極的に推進するとともに、創業支援を通じた地域経済の活性化に取り組み、活力ある産業基盤を形成します。また、社会経済情勢が変化中、中小零細企業が持続的に成長・発展できるよう各種支援策の充実に取り組み、地域資源や特性を生かした産業競争力の強化を図ります。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
法人市民税・法人税割 [*] の納税義務者数(1-1)	3,432件	3,500件
創業支援センター [*] と創業セミナーにおける起業・創業者数(1-1)※再掲	11事業者	20事業者
立地協定締結件数(増設を含む、累計)(1-1)※再掲	80件	100件
企業誘致によって新たに確保された雇用者数(累計)	2,156人	2,500人

プロジェクトの方向性

- 地域を支える産業の育成・支援(1-1-1)
- 創業支援と企業誘致(1-1-2)※再掲

2 「強い」農林水産業の育成、「稼ぐ」農林水産業の創造

概要・目的

農林水産業の経営基盤を強化するとともに、担い手の育成・確保による事業の継続性向上など、強い農林水産業を育成します。また、「ゲンセン霧島^{*}」認定制度やふるさと納税^{*}の活用により、認知度向上と販路拡大などに取り組み、農林水産業の稼ぐ力の向上を図ります。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
「ゲンセン霧島」認定件数(1-1)	60件	65件
新規就農者数(1-2)	5人	10人
農業産出額(推計)(1-2)※再掲	212億2000万円	212億2000万円
林業生産額(1-2)	10億7100万円	10億7100万円
水産業生産額(1-2)	1億4000万円	1億4000万円

プロジェクトの方向性

- 霧島ブランドの確立と販路の拡大(1-1-3)
- 農林水産業の担い手の育成・確保(1-2-1)
- 生産基盤^{*}の整備と農山漁村の振興(1-2-2)
- 農林水産業の稼ぐ力の向上(1-2-3)

3 多様な人材と市内企業をつなぐ就職マッチング

概要・目的

企業・ハローワーク・教育機関等との連携を強化し、若者・女性・高齢者・障がい者など多様な人材を生かした地元雇用の創出や多様な働き方の啓発に努めます。また、市内企業や地元就職の魅力を発信する取組を推進し、若者の地元定着を図ります。

KPI(重要業績評価指標)	現状値	目標値
高校卒業時の市内就職率(1-1)	34.2%	40.0%
大学等卒業時の市内就職率	12.7%	15.0%
ハローワークマザーズコーナー [*] 利用者就職率	49.5%	50.0%
ハローワーク利用者のうち35歳未満の若年者就職率	41.1%	45.0%

プロジェクトの方向性

- 魅力的な就業環境と担い手の確保(1-1-4)

Column 地方創生関連交付金を活用

市では国の地方創生関連交付金を活用し、様々な事業を展開しています。ここでその一部を紹介します。

①霧島ガストロノミーで興す「食」のムーブメント
市内産官学^{*}で組織する「霧島ガストロノミー推進協議会」を中心に、本市の恵まれた地域産品を生かした6次産業化^{*}やブランド化(ゲンセン霧島)を推進するとともに、市場のニーズに合った新商品の開発、効果的なPR等を実施しています。

②リノベーションまちづくり^{*}
創業とまちづくりの好循環を生み出すため、官民連携で自然環境や食、人、空き家・空き店舗など今ある地域資源を生かした新たな事業創出に取り組み、それらの過程や成果を共に楽しむことで、コミュニティ^{*}の育成とエリアの価値向上を図っています。

③新たな人の流れの創出
本市の魅力を全国に発信するとともに、移住定住促進イベントやオンライン^{*}も活用した移住体験ツアーなどを実施することで、都市部から本市に向けた新たな人の流れの創出に取り組んでいます。

